

ご購入読者各位

土木工事標準単価への移行に関するお知らせ

平素は、季刊『土木施工単価』をご利用いただき、誠にありがとうございます。

国土交通省発表のとおり、「土木工事市場単価」の一部が「土木工事標準単価」へ移行されました。今号における変更点につきましては、下記をご覧ください。

今後も使いやすく信頼性の高い価格情報の提供に向け、たゆまぬ努力を続けて参りますので、引き続きご高配を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 経済調査会

2017年10月（秋号）より、以下の3工種が「土木工事市場単価」から「土木工事標準単価」に移行しました。

- ・区画線工……………446頁
- ・高視認性区画線工……486頁
- ・排水構造物工……………506頁

※区画線工、高視認性区画線工は移行に伴い「材工共」から「手間のみ」に変更となりました。材料費は月刊「積算資料」をご覧ください。

なお、上記3工種につきましては、当会発行の『2017年度版 土木施工単価の解説』の解説内容が適用できなくなりますので、本誌に掲載の「土木工事標準単価」の該当頁をご覧ください。

また、2018年4月（春号）より、以下の3工種が「土木工事市場単価」から「土木工事標準単価」に移行する予定です。

- ・コンクリートブロック積工
- ・橋梁塗装工
- ・構造物とりこわし工